

## 認定特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1 階

Tel:03-5206-5260 Fax:03-5206-5261

Email:yunnan@yfa.org URL:<http://www.yfa.org/>

【雲南支部】中国雲南省昆明市人民路 289 号集大広場 2011 室

Tel:+86-871-63311468 Fax:+86-871-63320658

[@jyfa](http://www.facebook.com/NPOJYFA)ブログ [雲南の郵便屋さん](#) [続きを読む]

編集・発行人 初鹿庭 恵蔵

印刷協力 昭和情報プロセス㈱ (株)技術評論社 / デザイン Hope Company

Japan Yunnan  
Friendship Association

## 彩雲の南

## 第63号

発行日 2017年(平成29年)11月15日

会報

**50の小学校プロジェクト/25の小さな夢基金  
感動の再会 素敵な出会い  
皆さんのご支援が  
実を結ぶ**

▶ 日中謹賛愛小学校  
開校式(2003年11月)

2017年7月再訪問

毎年7月1日、「25の小さな夢基金」で支援している春雷生が誕立時のを迎えます。今年も「ふれあいの旅」で彼女たちの感動的な卒業式に参列。そして、翌日からは怒江

リス族自治州にある「50の小学校プロジェクト」で支援した小学校2校を訪問しました。支援第4校目・日中謹賛愛小学校(福貢県、2003年11月開校、近藤義一翁古支屋部長(支援))と支援第6校目・中秋那椿樹心小学校(怒江村、2005年8月開校、日本物貿易道工労働組合(支援))です。日本の皆様からの支援により毎年、多くの子どもたちが安心して学び、小学校を卒業しています。子どもたちは明るい未来を切り拓いてくれて、希望であります。今後多くの子どもたちが学校で学ぶことができるよう、協会は支援を続けています。

## 支援第4校目・日中謹賛愛小学校

日中学校は在校生101名の不完全級小学校で、福貢県政府は「6年生普通小学校」を目



## 日中謹賛愛小学校フォローアップ事業

2003年	開校
2004年	追跡調査によりバスクットコート建設実施
2005年	バスケットボール完成 沖縄糸島米島村立仲里小学校と フレンドシップ協定提携
2006年	仲里小学校交流
2009~10年	JICAによる技術協力事業「100万回の洗い(プロジェクト) 再訪問・追跡調査実施
2017年	追跡調査実施

指し、協会支援により6年生の  
小学校完成。子どもたちはゆとり  
のある閑闊の中、勉学に励む  
ことができるようになりました。

## 支援第6校目・中秋那椿樹心小学校

同小学校がある怒那椿村は同州の最北端に位置し、東は迪慶チベット族自治州、北はチベット自治区に接し、雲南省でも最も良い地域の一つとされています。旧校舎は1980年に建てられた木造で、この地の雨量や寒さに適応しないため政府から危険家屋に指定されていましたが、早急な改築が必要とされ、協会による支援が決定。旧校舎は木ドリーム工事中で、来年秋には1年生と就学前児童の約100名と5人の先生が宿泊する新しい学校として再利用されます。

## 中秋那椿樹心小学校フォローアップ事業

2005年	開校
2008年	「小さなメラマン」に参加
2009年	追跡調査実施
2017年	再訪問、追跡調査実施

## 中秋那椿樹心小学校開校式(2005年8月)



## 250の小さな夢基金卒業生の今

怒江リス族自治州秋那椿村 卒業生実家訪問  
素敵な出会いとふれあいに感謝

尊敬する日本雲南聯誼協会の皆さん

こんにちは！

私は胡さんと云い、雲南省怒江州貢山県丙中洛那椿村に、父、母、妹、義弟、甥と私の6人で暮らしています。2015年7月に雲南農業大学卒業し、現在は貢山県森林農作業経営合サービスセンターで働いています。

2008年、私は昆明女子中学春雷クラスに合格しました。学费は免除免除でしたが、家が非常に貧しく、家庭から隔てまでの交通費や、学校での生活費を両親がすべて負担することはできませんでした。そんな時、協会のボーターの方から「25の小さな夢基金」で、安心して勉強し、願いの大学に合格でした。高校進学前、私はいつも「私たちのよき貧しい出身の人間は、おもろに将来も何回問題、婚を構立することしかできず、世界を出て外の世界を見ることなどないだろう」と思っていました。でも、辛運にも、みんなの方々にご支援をいただき、無事、高校を卒業されました。日本の皆さんから春雷クラスへのご支援は、愛に因るが故にこそを私に教えていただきました。言葉が通じなくて、も、生活環境や受ける教育が異なっても、日本ののみんなの似いやか



私の大切な家族  
しかし、大切な母が糖尿病に…

と助けに全く影響せません。世界中にも日本と同じく人がいて、情熱に燃いでいるからこそ、私たちのような山奥の子供にも希望をくれています。助けてくれたおもむろにほん。人助けを育むびきの精神を積極的に学んでみるべきです。この世界にはこのようなアスレチカルギーと温めもあるべきですが、世界を愛で受けたままであります。現在は経済発展が速く、ふざきもひんじょう良く見えますが、今なお多くの人々がまだ経済的貧困で生活に困っています。

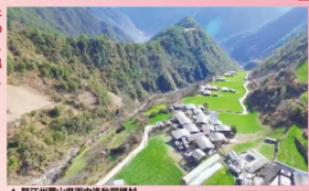
私はこうした子どものたちが特

2017年7月の「ふれあいの旅」一行は「50の小学校プロジェクト」支援6校目・中秋那椿樹心小学校を訪問後、「25の小さな夢基金」第3回生の胡開麗さんの実家を訪問しました。残念ながら胡さんは仕事を不在でしたが、家族が一行を温かく迎えてくれ、つかの間の「ふれあいの旅」が時間を使いました。後日、胡さんから手紙が届きましたので紹介します。

2017年7月の「ふれあいの旅」一行は「50の小学校プロジェクト」支援6校目・中秋那椿樹心小学校を訪問後、「25の小さな夢基金」第3回生の胡開麗さんの実家を訪問しました。残念ながら胡さんは仕事を不在でしたが、家族が一行を温かく迎えてくれ、つかの間の「ふれあいの旅」が時間を使いました。後日、胡さんから手紙が届きましたので紹介します。



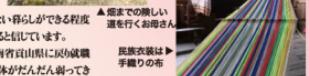
胡さんのお母さん(左)と  
初野開麗管理長



▲怒江州黃山鎮丙中洛那椿村



▲土砂崩れが発発する村への危険な道路



▲床衣表は▶手織りの布

面倒を見られるのは辛いだけだと思います。私はもう小さなどではなく、両親も老けました。かくて自分が両親に抱いていたように。これらは両親の心のゆらぎでした。支えられないと生きていけないといいます。公務員にはねはねかわらせるの衣食に心配のない暮らしはできていますが、母が糖尿病になってしまったからこそ、もどかしくないわけないといいます。これは重病ではありませんが、家族の面倒を見るのが手仕事だと思います。私はもう

25の小さな夢基金」第3回生 胡開麗

2008年9月昆明市女子中学校に入室したばかりの胡開麗さん  
(貢山県 中島弘樹代表支所)

現在勤める貢山農業  
合規格融資サービスセンター





## イベント報告 さいたま市国際ふれあいフェア2017 大宮支部 出展



さいたま国際協会主催の「ふれあいフェア」が10月9日、JR浦和駅東口駅前市民広場で開催され、今年も大宮支部が出展しました。今年は雨が多く開催できかね心配されましたが、当時は青空が広がり、来場者は7,000名(主催者発表)を超えました。

荷物を載せた車が9時に到着すると、ボランティアの皆さんが慣れた手つきで荷物を運び、あとで間のブースは完成しました。華やかな民族衣装で珍しい民芸品は来場者の目をひきました。民族衣装につけたボランティアの皆さん、来場者のみなさんに生懸念、協会活動を紹介し、ブースは熱気であふれました。ボランティア初参加の青空菊さんもバランとともに活躍してくれました。

たった5時間でしたが、今年もボランティアの皆さん、ブースを訪れていたたいたい皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。皆さん、大変お疲れ様でした。

ボランティア能力(審査、審査員、審査員): 烏羽清廣、川口邦夫、市川久美子、高橋恵子、松本重宣、佐藤正典、横山一也、木本義夫、金子少輔、審査員(監査): 寺内明子

## 平成29年度第1回理事会及び役員・顧問会 開催報告

本年2回目理事会及び役員・顧問会が本部の通りを行いました。

日 時： 平成29年9月8日18時00分

会場： 15時30分～17時00分

役員・顧問会

17時00～18時00分

場 所： 株式会社技術評論社5階 会議室

司会進行： 沢澤 崇 理事

参加人数： 22名(事務局含む)

(議案) 協会設立20周年記念事業について(継続審査)、第13回チャリティーギルフコン及び2017チャリティー忘年会について、新顧問について。

今回最も重要な議案が審議され、全て原案通り承認されました。

## 第21回 全国巡回写真展 「笑顔を君に」in半蔵門

後援：

一般社団法人  
自由体国際協会



協会主催の写真展「笑顔を君に」が、9月8日から22まで3年ぶりに東京・半蔵門の市民国際プラザで開催され、200名以上が来場しました。

同写真展は、2011年に大分県の久留米アジア太平洋大学で第1回が開かれてから日本全国で巡回しています。

写真やパネルで会場活動紹介したほか、麻(イ)族の女性の民族衣装や雲南少数民族のハンドクラフトを展示し、雲南や少数民族を身边に感じてもらいました。

中国交正化45周年及び中華人民共和国成立68周年  
祝賀レセプション

中国交正化45周年と10月1日の国庆節(中国の建国記念日)を祝う中国大使館(中国の使領館)のセレモニーが9月28日、ホテルニューオーク(二東京都千代田区)で開かれました。

政財界や日中友好筋、在日華僑華人約2000名とともに初鹿

野主席率の協会代表も出席。程木草太朗は「現在、日中関係は改善されつつある。両国民情好力アートなどで、互に用いる平和的な発展を支持し、戦略的互恵関係を正しい方向へ進めたい」と挨拶しました。

## あげおワールドフェア2017 大宮支部 出展

大宮支部ブース

上尾市国際文化交流協会主催の「あげおワールドフェア2017」が10月9日(月・祝)、上尾市文化センターで開催されました。前日の「さいたま市国際ふれあいフェア」に続き、大宮支部が7回目の出展をしました。今年は雨が多く開催できかね心配されましたが、当時は青空が広がり、来場者は7,000名(主催者発表)を超えていました。

荷物を載せた車が9時に到着すると、ボランティアの皆さんが慣れた手つきで荷物を運び、あとで間のブースは完成しました。民族衣装につけたボランティアの皆さん、来場者のみなさんに生懸念、協会活動を紹介し、ブースは熱気であふれました。

華やかな民族衣装や珍しい民芸品は来場者の目をひきました。民族衣装に身についたボランティアの皆さん、来場者のみなさんに生懸念、協会活動を紹介し、ブースは熱気であふれました。

ボランティア初参加の青空菊さんもバランとともに活躍してくれました。

たった5時間でしたが、今年もボランティアの皆さん、ブースを訪れていたたいたい皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。皆さん、大変お疲れ様でした。

ボランティア能力(審査、審査員、審査員): 烏羽清廣、川口邦夫、大島國雄、市川久美子、小倉千絵、金子少輔、寺内明子

他の国の出展者ともふれあいました

が分かれ、展示ブースはペラシボランティアの烏羽清廣さんと川口邦夫さんのご二人にて、チャリティーバザーではチャイナディズニ姿

の女性陣と雲南少数民族の手工芸品を紹介しました。22の国と地域が参加した同団体は、各団体の工夫を凝らした展示で異国情緒があふれています。二日連続でお手伝いいただいたボランティアの皆さん、大変お疲れ様でした。

大宮支部支部長 寺内明子

ボランティア能力(審査、審査員、審査員): 烏羽清廣、川口邦夫、大島國雄、市川久美子、小倉千絵、金子少輔、寺内明子

## 新顧問2名 ご紹介

平成29年度第2回理事会で、佐伯義博さんと森正一郎さん(いずれも非会員)の顧問就任が全会一致で承認されました。

新顧問の2人には、これまでの経験を生かし、協会

に新しい風を吹き込むべく貢献していただければと思います。

佐伯 義博

古河商機システム株式会社 取締役

8月18日の開催理事会にて新顧問に就いたしました。

甚だ腕力が強く協会の活動理念に基づき、少しでもお手に立てるよう尽力する所存です。皆さんは今後とも一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

森 正一郎

共同物流株式会社 取締役

この度顧問就任いたしました森です。

8年前に技評講習会社様を通じて理事長とご縁となり、その後高尾在住といふ共通点もあり懇意にさせていただく中でお役目を賜りました。協会のため微力ながら尽力して参ります

新顧問2名

平成29年度第2回理事会で、佐伯義博さんと森正一郎さん(いずれも非会員)の顧問就任が全会一致で承認されました。

新顧問の2人には、これまでの経験を生かし、協会

に新しい風を吹き込むべく貢献していただければと思います。

杉谷隆志前専務理事

卒寿記念墨画展・祝賀会

協会の前専務理事で墨

美会会長の水墨画家・

杉谷隆志先生の卒寿を

祝う墨画展が9月27日

(水)から5日間 東京駅

中央区のJRビルA重洲画廊

で開かれました。初日の

祝賀会は、協会の片岡

顧問、澤澤崇理事長

52名が祝いにかけつけました。

杉谷先生がスケッチに訪れた日本と中国各地の大鳥然大鳥々をテーマにした約50作品が展示され、雲南の雄大な自然を描いた作品も見られました。

## 江戸川総合人生大学 第14期入学式 初鹿野惠蘭理事長 出席

北野 大輔

一八八一八子式

東京都江戸川区のコ

ミュニティカレッジ(江戸

川総合人生大学)の

第14期生の入学式が

10月4日、椎崎文化

プラザで行われ、30代

から80代の71名が入

学式に臨みました。

2012年から國際コミュニティ学科特別別講義の講師を務める初鹿野恵蘭理事長が出席しました。北野大学長は祝辞で「これからのお二人はお読みられて行くべきは社会を支えていく意識改革が必要」と述べました。

## お便り 大募集

皆さんからの感想・お便りお待ちしています

●こんなコーナーがあったらいいな

●雲南旅行でいい写真が撮れたので会報誌に載せてほしい

●雲南のこんな情報が知りたい.....

T162-0846  
東京都新宿区市谷左内町21-13 1階

日本雲南聯説協会

東京本部事務局

yunnan@yf.org

までお送りください

## イベント情報

### ■第38回八王子いちょうまつり

日時： 11月18日(土)、19日(日)  
10:00～17:00

場所： ヘリテージ八王子(東京都多摩市)

主催： 東京都

内容： 著名な文化体験、各種の伝統芸能・音楽・ダンス・ワークショップ・民族衣装・着物着付け体験等

※入場無料

### ■江戸川総合人生大学 特別講義

テーマ「日本住民と中國の人々の活動について」

講師： 初鹿野恵蘭理事長

日時： 12月13日(水)

場所： 鶴舞文化プラザ  
(東京都江戸川区川口)

### ■第17回 チャリティー忘年会

日時： 12月16日(土) 17:00～19:00

会場： ピアステーション恵比寿

(東京都渋谷区渋谷1丁目ビーンズ内)

### ■上海日本人学校国際交流会 in昆明

期間： 12月24日㈮～12月26日㈰ 2泊3日

会場： 昆明市女子大学、昆明市各地

### ■第8回「夢は叶う」講演会

日時： 2017年12月6日(火) 予定

場所： 昆明市女子大学

講師： 吉村明郎(元上海ビーム経理)、

耿文(次女、NPO日本映像祭実行委員会理事)

### ■2017チャリティー忘年会

日本と雲南少数民族友好のタペ

毎年100名以上の会員・ボランティアが参加する協会主催のチャリティー忘年会

専属少数民族の踊りを参加者で盛りたり、おしゃべり会議で競争景品をゲットしたりなどに盛んでいただけの内容です。

会期： 2017年12月16日(土) 17:00～19:00

会場： ピアステーション恵比寿

(東京都渋谷区渋谷1丁目ビームビル内)JR渋谷駅北口徒歩5分

会費： 一般7,000円、学生5,500円

### 【お問い合わせ】

日本雲南聯説協会東京本部事務局

TEL-03-5260-5260 (平日10～18時)

E-mail:yunnan@yf.org

ご要望、お友達をお呼び場所の上、お気軽にご参加ください

皆さんのご参加をよりお待ちしております!

### 編集後記

先日、キャリア教育の講師を頼まれ、母校の高生で一生を手に働くことの意義や苦労などを話しました。ある生徒は「自分のためではなく、他人のために働くからエールギーが湧く。という感情が心に響きました」と感想を書いていました。協会で関わる子どもたちが多く、「将来は故郷の発展のために尽くしたい」という意志を秘めています。自分の受けた支援などを通じ、教えられないでか教えることの意味を理解していて、頼もしく思いました。

(編集長・木本一彰)